

# 令和5年度 高等学校全日課程教育課程

## 令和4、5年度入学生教育課程表

教科	科目	学年	1年	2年				3年			
		クラス	選抜・進学	選抜・進学				選抜・進学			
		類型		文系Ⅰ	文系Ⅱ	文系Ⅲ	理系	文系Ⅰ	文系Ⅱ	文系Ⅲ	理系
		標準単位数									
国語	現代の国語	2	2								
	言語文化	2	2								
	論理国語	4		3	3	3		2	2	2	
	文学国語	4		2	2	2		3	3	3	
	国語表現	4									
	古典探究	4		3	3	3		2	2	2	
	受験国語演習*							1			(1)
	理系国語*						2				
	国語総合演習*		(1)								
国語合計		4	8	8	8	2	8	7	7	0	
地理歴史	地理総合	2	2								
	歴史総合	2	2								
	世界史探究	3		③	③	③		⑤	⑤	③	
	日本史探究	3		③	③	③		⑤	⑤	③	
公民	公共	2		2	2	2	2				
	政治・経済	2						(2)			
	地歴公民合計		4	5	5	5	2	5	5	3	0
数学	数学Ⅰ	3	3								
	数学Ⅱ	4		4	2	2	4		2	2	
	数学Ⅲ	3									(3)
	数学A	2	2								
	数学B	2					2				
	数学C	2					2				
	理系受験数学*										4
	受験数学ⅠA*							(2)			
	受験数学ⅡBC*							(2)			
数学ⅠA演習*		(1)									
数学合計		5	4	2	2	8	0	2	2	4	
理科	科学と人間生活	2		2	2	2					
	物理基礎	2					2				
	物理	4									⑥
	化学基礎	2	2								
	化学	4					3				3
	生物基礎	2					2	(2)			
	生物	4									⑥
	理科演習*										(2)
理科合計		2	2	2	2	7	0	0	0	9	
保健体育	体育	7~8	3	2	2	2	2	2	2	2	2
	保健	2	1	1	1	1	1				
	武道*	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	保健体育合計		5	4	4	4	4	3	3	3	3
芸術	音楽Ⅰ	2		②	②	②	②				
	音楽Ⅱ	2								②	
	美術Ⅰ	2		②	②	②	②				
	美術Ⅱ	2								②	
	書道Ⅰ	2		②	②	②	②				
	書道Ⅱ	2								②	
芸術合計		0	2	2	2	2	0	0	2	0	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3								
	英語コミュニケーションⅡ	4		5	4	4	5				
	英語コミュニケーションⅢ	4						5	4	4	5
	論理・表現Ⅰ	2	2								
	論理・表現Ⅱ	2		3	2	2	3				
	論理・表現Ⅲ	2						3	2	2	3
	英語演習*		(1)								
	英語合計		5	8	6	6	8	8	6	6	8
家庭	家庭基礎	2	2								
	家庭合計		2	0	0	0	0	0	0	0	0
情報	情報Ⅰ	2	2								
	情報合計		2	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		29	33	29	29	33	24	23	23	24	
総合的な探究の時間	3~6	1	1	1	1	1	1	2	2	1	
合計		30	34	30	30	34	25	25	25	25	

特別活動 HR 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

○数字は選択必修科目 ( )内は自由選択科目 \*は学校設定科目

●3か年履修単位数

選抜・進学	文Ⅰ	89
	文Ⅱ	85
	文Ⅲ	85
	理	89
国士館大学進学	進学文	74
	進学理	78

卒業認定は74単位以上

- ・1年の体育3単位のうち、1単位は武道を行う。
- ・HRは学校行事等を含む。
- ・総合的な探究の時間は学校行事等を含む。
- ・1年の自由選択科目は土曜日に行う。
- ・2年文Ⅰ・理系は土曜日必修授業とする。
- ・地歴の選択必修(日本史探究・世界史探究)は2・3年同じ科目を選択する。
- ・3年理科演習は、物理・化学・生物のいずれか1つを選択できる。
- ・次年度以降の選択科目については、変更する場合がある。

# 令和5年度 高等学校定時制課程教育課程

## (1)令和5年度入学生

教科等	科目	学年		1年	2年	3年		
		クラス		共通	文	理	文	理
		標準単位数	設定単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数
国語	現代の国語	2	2	2				
	言語文化	2	2	2				
	論理国語	4	4		〔②〕		〔②〕	
	文学国語	4	4		〔②〕		〔②〕	
	国語表現	4	4					
	古典探究	4	4		2		2	
	国語総合演習*		2					2
地理歴史	地理総合	2	2	2				
	歴史総合	2	2	2				
	日本史探究	3	5		〔②〕		〔③〕	
	世界史探究	3	5		〔②〕		〔③〕	
公民	公共	2	2		2	2		
	政治・経済	2	2				(2)	(2)
数学	数学Ⅰ	3	3	3				
	数学Ⅱ	4	4			4		
	数学A	2	2	2				
	数学B	2	2			2		
	受験数学演習*		2					2
理科	科学と人間生活	2	2		2			
	物理基礎	2	2			2		
	物理	4	4					〔④〕
	化学基礎	2	2			2		
	化学	4	5			2		3
	生物基礎	2	2	2				
	生物	4	4					〔④〕
理科演習*		2					(2)	
保健体育	体育	7	7～10	4	3	3	(3)	(3)
	保健	2	2	1	1	1		
芸術	書道Ⅰ	2	2		〔②〕	〔②〕		
	書道Ⅱ	2	2					
	音楽Ⅰ	2	2		〔②〕	〔②〕		
	音楽Ⅱ	2	2					
	美術Ⅰ	2	2		〔②〕	〔②〕		
	美術Ⅱ	2	2					
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3	3				
	英語コミュニケーションⅡ	4	4		4	4		
	英語コミュニケーションⅢ	4	4				4	4
	論理・表現Ⅰ	2	2	2				
	論理・表現Ⅱ	2	2		2	2		
	論理・表現Ⅲ	2	2				2	2
	英語演習*		2				(2)	(2)
家庭	家庭基礎	2	2	2				
情報	情報Ⅰ	2	2		2	2		
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間	3	3～5	2	1	1	(2)	(2)
		予定履修数		29	25	29	20	20

特別活動	HR	3	3	1	1	1	1	1
------	----	---	---	---	---	---	---	---

(注)

○数字は選択必修科目

①内は自由選択科目

\*は学校設定科目

履修単位数は、文系理系で異なる。

文 74

理 78

・1年の体育4単位のうち、2単位は武道を行う。

・2,3年の体育3単位のうち、1単位は武道を行う。

・HRは学校行事等も含む。

・総合的な探究の時間は学校行事等も含む。

・地歴の必修選択（日本史探究・世界史探究）は2,3年

同じ科目を選択する。

・次年度以降の選択科目については、変更する場合がある。

## 令和5年度 高等学校使用教科書

教科	種目	発行者	教科書名	学年
国語	現代の国語	数研	高等学校 現代の国語	1年
	言語文化	数研	高等学校 言語文化	1年
	論理国語	東書	精選論理国語	2年
	文学国語	東書	文学国語	2年
	古典探究	東書	精選古典探究 (古文編・漢文編)	2年
	理系国語	東書	精選論理国語	2年
	現代文B	数研	改訂版 現代文B	3年
	古典B	数研	改訂版 古典B (古文編・漢文編)	3年
地歴	地理総合	帝国	高等学校 新地理総合	1年
	歴史総合	山川	歴史総合 近代から現代へ	1年
	地図	帝国	新詳高等地図	1年
	日本史探究	山川	詳説 日本史	2年
	世界史探究	山川	詳説 世界史	2年
	日本史B	山川	詳説日本史 改訂版	3年
	世界史B	山川	詳説世界史 改訂版	3年
公民	公共	帝国	高等学校 公共	2年
	政治・経済	第一	高等学校 改訂版 政治・経済	3年
数学	数学Ⅰ	啓林館	新編 数学Ⅰ	1年
	数学A	啓林館	新編 数学A	1年
	数学Ⅱ	啓林館	数学Ⅱ	2年
		啓林館	新編 数学Ⅱ	2年
	数学B	啓林館	数学B	2年
	数学C	啓林館	数学C	2年
	数学Ⅲ	啓林館	数学Ⅲ 改訂版	3年
理科	化学基礎	東書	化学基礎	1年
	科学と人間生活	東書	科学と人間生活	2年
	物理基礎	啓林館	高等学校 物理基礎	2年
	生物基礎	東書	生物基礎	2年
		東書	改訂 生物基礎	3年
	化学	東書	化学 (Vol.1 理論編・Vol.2 物質編)	2年
		東書	改訂 化学	3年
	物理	啓林館	物理 改訂版	3年
生物	東書	改訂 生物	3年	
体育	保健体育	大修館	現代高等保健体育	1年
芸術	音楽Ⅰ	教芸	MOUSA 1	2年
	美術Ⅰ	光村	美術 1	2年
	書道Ⅰ	東書	書道Ⅰ	2年
	音楽Ⅱ	教芸	MOUSA 2	3年
	美術Ⅱ	光村	美術 2	3年
	書道Ⅱ	東書	書道Ⅱ	3年
情報	情報Ⅰ	実教	図説情報Ⅰ	1年
家庭	家庭基礎	実教	家庭基礎 気づく力 築く未来	1年
英語	英語コミュニケーションⅠ	啓林館	LANDMARK Fit English Communication I	1年
		啓林館	LANDMARK English Communication I	1年
	論理・表現Ⅰ	啓林館	Vision Quest English Logic and Expression I Standard	1年
	英語コミュニケーションⅡ	啓林館	LANDMARK Fit English Communication II	2年
		啓林館	ELEMENT English Communication II	2年
		啓林館	LANDMARK English Communication II	2年
	論理・表現Ⅱ	啓林館	Vision Quest English Logic and Expression II Hope	2年
	コミュニケーション英語Ⅲ	啓林館	LANDMARK Fit English Communication III	3年
		啓林館	Revised ELEMENT English Communication III	3年
		啓林館	Revised LANDMARK English Communication III	3年
英語表現Ⅱ		啓林館	Vision Quest English Expression II Hope	3年

## 令和5年度高等学校定時制課程使用教科書

教科	科目	出版社	教科書名	学年
国語	現代の国語	数研	高等学校 現代の国語	1年
	言語文化	数研	高等学校 言語文化	1年
		第一	高等学校 言語文化	2年基礎
	論理国語	東書	精選 論理国語	2年
	文学国語	東書	文学国語	選択2年文
	現代文B	三省堂	明解現代文B 改訂版	3年文
	国語表現	第一	高等学校 国語表現	選択3年文
古典B	大修館	新古典B 改訂版	選択 3年文	
地理歴史	地理総合	帝国	高等学校 新地理総合7	1年
	地理探究	東書	地理探究	選択2年文
	地理B	東書	地理B	選択3年文
	歴史総合	山川	歴史総合 近代から現代へ	1・2年
	日本史A	実教	高校日本史A 新訂版	選択3年文
公民	政治・経済	第一	高等学校 政治・経済	選択2年文
		第一	最新政治・経済 新訂版	3年文
数学	数学Ⅰ	啓林館	新編数学Ⅰ	1年
		数研	新 高校の数学Ⅰ	2年基礎
	数学Ⅱ	啓林館	数学Ⅱ	選択2年
		東書	数学Ⅱ Standard	3年理
	数学A	啓林館	新編数学A	1年・選択2年
	数学B	啓林館	数学B	2年理
東書		数学B Standard	3年理	
理科	物理基礎	啓林館	高等学校 物理基礎	2年理
	化学基礎	東書	化学基礎	2年理
	生物基礎	東書	生物基礎	1年
	化学	実教	新版化学 新訂版	選択3年理
	生物	啓林館	生物 改訂版	
	科学と人間生活	東書	科学と人間生活	2年文・基礎
保健体育	保健体育	大修館	現代高等保健体育	1・2年
芸術	音楽Ⅱ	教芸	MOUSA 2	選択3年
	美術Ⅱ	光村	美術 2	
	書道Ⅱ	東書	書道Ⅱ	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	啓林館	LANDMARK English CommunicationⅠ	1年
	英語コミュニケーションⅡ	数研	COMET English CommunicationⅡ	2年
	コミュニケーション英語Ⅲ	東書	All Aboard! English CommunicationⅢ	3年
	論理・表現Ⅰ	啓林館	Vision Quest English Logic and ExpressionⅠ Standard	1年
		数研	BIG DIPPER English Logic and ExpressionⅠ	2年
	論理・表現Ⅱ	数研	BIG DIPPER English Logic and ExpressionⅡ	選択2年
家庭	家庭基礎	実教	家庭基礎 気づく力 築く未来	1年
	家庭総合	東書	家庭総合 自立・共生・創造	2年基礎
情報	情報Ⅰ	実教	図説 情報Ⅰ	2年

教科	国語	科目	現代の国語	授業 時数		週2時間		教材	現代の国語 (数研出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～8組										
時期		項目					到達目標				
前期	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の学習の仕方</li> <li>短歌、俳句、読書感想文</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>楷書で書くことができる。</li> <li>短歌と俳句の違いを理解する。また、読書感想文の基本的書き方を理解する。</li> <li>小論文とはどのようなものかを知る。小論文の基本的構成のパターンを知り、理解する。</li> </ul>				
	4月下旬 ～5月 6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>小論文</li> <li>防災評論 山口明の防災評論「避難勧告と避難指示(緊急)の一本化」</li> <li>評論&lt;言語&gt; 野矢茂樹「論理的ということ」</li> <li>評論&lt;社会&gt; 山極寿一「攻撃」と「共存」</li> <li>2組は共通テスト過去問演習を適宜行う</li> <li>第1回定期試験までに漢字テストを数回実施する 第1回定期試験</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>防災評論を読み取り、防災への理解を深める。</li> <li>論理的とはどういうことかを、本文を読み取りながら理解する。</li> <li>対比の構造を理解し、本文を読み取る。</li> <li>共通テスト問題の解法を知る。</li> </ul>				
夏休み		夏期休暇課題					<ul style="list-style-type: none"> <li>俳句</li> <li>短歌</li> <li>読書感想文</li> </ul>				
前期	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>小論文</li> <li>評論&lt;情報&gt; 阪本俊生「ポスト・プライバシー」</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>小論文とはどのようなものかを理解する。小論文の基本的構成のパターンを理解する。小論文の知識を論理的文章の読み取りに活かすことができる。</li> <li>情報に対する一般論と筆者の主張を明確に区別し、読み取ることができる。</li> </ul>				
後期	10月 ～11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論&lt;情報&gt; 阪本俊生「ポスト・プライバシー」</li> <li>評論&lt;科学&gt; 岸田一隆「科学コミュニケーション」</li> <li>2組は共通テスト過去問演習を適宜行う</li> <li>第2回定期試験までに漢字テストを数回実施する 第2回定期試験</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>情報に対する一般論と筆者の主張を明確に区別し、読み取ることができる。</li> <li>科学的なコミュニケーションとは何かを本文から読み取り、視野を広げる。</li> <li>共通テスト問題の解法を知る。</li> </ul>				
冬休み		冬期休暇課題									
後期	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>小論文</li> <li>評論&lt;言語&gt; 鈴木孝夫「ものことば」</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>小論文とはどのようなものかを理解する。小論文の基本的構成のパターンを理解する。また、小論文の知識を論理的文章の読み取りに活かすことができる。</li> <li>本文から具体的に表現されている部分と抽象的に表現されている部分をそれぞれ読み取り、理解する。</li> </ul>				
	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論&lt;思想&gt; 鷲田清一「他者を理解するということ」</li> <li>2組は共通テスト過去問演習を適宜行う</li> <li>第3回定期試験までに漢字テストを数回実施する 第3回定期試験</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>他者を理解するとはどういうことか、筆者の考え本文からよみとり、視野を広げる。</li> <li>共通テスト問題の解法を知る。</li> </ul>				
試験範囲		<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回定期試験範囲: 評論&lt;言語&gt; 野矢茂樹「論理的ということ」、評論&lt;社会&gt; 山極寿一「攻撃」と「共存」</li> <li>第2回定期試験範囲: 評論&lt;情報&gt; 阪本俊生「ポスト・プライバシー」、評論&lt;科学&gt; 岸田一隆「科学コミュニケーション」</li> <li>第3回定期試験範囲: 評論&lt;言語&gt; 鈴木孝夫「ものことば」、評論&lt;思想&gt; 鷲田清一「他者を理解するということ」</li> </ul>									

教科	国語	科目	現代の国語	授業 時数	週2時間	教材	現代の国語 (数研出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年9組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月  4月下旬 ～5月  6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の学習の仕方</li> <li>短歌、俳句、読書感想文</li> <li>小論文</li> <li>防災評論 山口明の防災評論「避難勧告と避難指示(緊急)の一本化」</li> <li>評論&lt;言語&gt; 野矢茂樹「論理的ということ」</li> <li>評論&lt;社会&gt; 山極寿一「攻撃」と「共存」</li> <li>小学校・中学校での学習内容の復習を、適宜行う</li> <li>第1回定期試験までに漢字テストを数回実施する</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>第1回定期試験</b></p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>楷書で書くことができる。平仮名も丁寧に書くことができる。</li> <li>短歌と俳句の違いを理解する。また、読書感想文の基本的書き方を理解する。</li> <li>小論文とはどのようなものかを知る。小論文の基本的構成のパターンを知り、理解する。合わせて、原稿用紙の正しい使い方を習得する。</li> <li>防災評論を読み取り、防災への理解を深める。</li> <li>論理的とはどういうことかを、本文を読み取りながら理解する。</li> <li>対比の構造を理解し、本文を読み取る。</li> <li>音読みとは。訓読みとは。形式段落とは。意味段落とは。など。</li> </ul>				
夏 休 み		<b>夏期休暇課題</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>俳句</li> <li>短歌</li> <li>読書感想文</li> </ul>				
前期	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>小論文</li> <li>評論&lt;情報&gt; 阪本俊生「ポスト・プライバシー」</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>小論文とはどのようなものかを理解する。小論文の基本的構成のパターンを理解する。小論文の知識を論理的文章の読み取りに活かすことができる。</li> <li>情報に対する一般論と筆者の主張を明確に区別し、読み取ることができる。</li> </ul>				
後期	10月 ～11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>評論&lt;情報&gt; 阪本俊生「ポスト・プライバシー」</li> <li>評論&lt;科学&gt; 岸田一隆「科学コミュニケーション」</li> <li>小学校・中学校での学習内容の復習を、適宜行う</li> <li>第2回定期試験までに漢字テストを数回実施する</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>第2回定期試験</b></p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>情報に対する一般論と筆者の主張を明確に区別し、読み取ることができる。</li> <li>科学的なコミュニケーションとは何かを本文から読み取り、視野を広げる。</li> <li>筆者とは。作者とは。話し言葉とは。書き言葉とは。など</li> </ul>				
冬 休 み		<b>冬期休暇課題</b>							
後期	1月  2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>小論文</li> <li>評論&lt;言語&gt; 鈴木孝夫「ものことば」</li> <li>評論&lt;思想&gt; 鷲田清一「他者を理解するということ」</li> <li>小学校・中学校での学習内容の復習を、適宜行う</li> <li>第3回定期試験までに漢字テストを数回実施する</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>第3回定期試験</b></p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>小論文とはどのようなものかを理解する。小論文の基本的構成のパターンを理解する。また、小論文の知識を論理的文章の読み取りに活かすことができる。</li> <li>本文から具体的に表現されている部分と抽象的に表現されている部分をそれぞれ読み取り、理解する。</li> <li>他者を理解するとはどういうことか、筆者の考え本文からよみとり、視野を広げる。</li> <li>正しい日本語の表現とは。敬語とは。口語文法とは。など。</li> </ul>				
試験 範囲		<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回定期試験範囲: 評論&lt;言語&gt; 野矢茂樹「論理的ということ」、評論&lt;社会&gt; 山極寿一「攻撃」と「共存」</li> <li>第2回定期試験範囲: 評論&lt;情報&gt; 阪本俊生「ポスト・プライバシー」、評論&lt;科学&gt; 岸田一隆「科学コミュニケーション」</li> <li>第3回定期試験範囲: 評論&lt;言語&gt; 鈴木孝夫「ものことば」、評論&lt;思想&gt; 鷲田清一「他者を理解するということ」</li> </ul>							

教科	国語	科目	言語文化	授業 時数	週 2 時間	教材	高等学校 言語文化 数研出版	種別	高校
学年 組 類型	高等学校 1年1組～8組								
	時期	項目				到達目標			
前期	4月～7月	<b>【古文】</b> ・ヤ行・ワ行の表記、品詞分類表、動詞の活用の種類・活用形 歴史的仮名遣い ・古文知識(月の異名、十二支、方位、時刻、他) 『宇治拾遺物語』第95話(検非違使忠明) <b>第 1 回定期試験</b>				・文語文法を理解する。 ・月の異名を理解する。 ・歴史的仮名遣いを正しく音読できるようにし、現代仮名遣いに直すことができる。動詞の活用に注目する。			
夏 休 み		・国語科宿題				・読書感想文(校内コンクール) ・短歌(東洋大学/外部コンクール) ・俳句(神奈川大学/外部コンクール)			
前期 ・ 後期	9月～12月	<b>【古文】</b> 形容詞、形容動詞の活用の種類と活用形 ・『徒然草』序段(つれづれなるままに)、第11段(神無月のころ)、 第92段(ある人、弓射ることを習ふに) <b>【現代文】</b> 小説『羅生門』 芥川龍之介 <b>第 2 回定期試験</b>				・文語文法を理解する。 ・形容詞、形容動詞の活用の種類、活用形の識別ができるようになる。 ・本文に出てくる助詞、助動詞は適宜学習する。 ・用言(動詞・形容詞・形容動詞)の復習を行う。 ・作品に対する文学史的な知識を習得する。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解できる。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え内容を解釈する。			
冬 休 み									
後 期	1月～3月	<b>【漢文】</b> ・入門一、二 ・矛盾 <b>【現代文】</b> ◆小説『山月記』 中島 敦 <b>第 3 回定期試験</b>				・漢文の訓読の基礎を理解する。 ・身につけた訓読の力で文章を読解する。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解できる。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。			
備 考	★授業の進度等により、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合があります★ ※副教材「マドンナ古文単語 230」の中から、単語テストを適宜行う。副教材は適宜使用する。 ※選抜クラスは共通テストの古文・漢文の問題を適宜解く。 ※授業内において「防災」に関する内容に触れる。 <b>【第一回 定期試験範囲】</b> 文法/古文知識/古文「検非違使忠明」 <b>【第二回 定期試験範囲】</b> 文法/古文知識/古文「徒然草」/現代文「羅生門」 <b>【第二回 定期試験範囲】</b> 漢文 入門/漢文「矛盾」/現代文「山月記」								



教科	国語	科目	言語文化	授業 時数	週 2 時間	教材	高等学校 言語文化 数研出版	種別	高校
学年 組 類型	高等学校 1年9組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月～7月	<b>【文法】</b> ・現代日本語文法 ・古典文法 <b>【文化】</b> ・古典図録 ・古文チェックポイント[1] <b>【古文】</b> ・竹取物語 <p style="text-align: center;"><b>第 1 回定期試験</b></p>			・現代文法を復習し、古典文法に繋げる。 ・単語の働きと接続を理解する。 ・現代とは違う古典の世界の文化を理解する。 ・身につけた言語と文化の力で古文の文章の読解をする。				
夏 休 み		・国語科宿題			・読書感想文(校内コンクール) ・短歌(東洋大学/外部コンクール) ・俳句(神奈川大学/外部コンクール)				
前期 ・ 後期	9月～12月	<b>【古文】</b> ・土佐日記 ・伊勢物語 ・枕草子 ・徒然草 <b>【応用】</b> <b>【古文】</b> ・今昔物語集 <b>【現文】</b> ・羅生門 <p style="text-align: center;"><b>第 2 回定期試験</b></p>			・身につけた言語と文化の力で各時代の文章の読解をする。 ・奈良時代 ・平安時代 ・鎌倉時代 ・古典文学を受け継いでいる現代の小説を通して小説の特徴を理解する。 ・芥川龍之介について研究する。				
冬 休 み									
後 期	1月～3月	<b>【古文】</b> ・平家物語 <b>【漢文】</b> ・入門一、二 ・矛盾 <b>【応用】</b> <b>【現文】</b> ・山月記 <p style="text-align: center;"><b>第 3 回定期試験</b></p>			・身につけた言語と文化の力で各時代の文章の読解をする。 ・和漢混淆文を理解する。無常観を理解する。 ・日本語の影響を与えた中国の古典の漢文を理解する。 ・漢文の訓読の基礎を理解する。 ・身につけた訓読の力で文章を読解する。 ・漢文学を受け継いでいる現代の小説を通して小説の特徴を理解する。 ・中島敦について研究する。				
備 考	<p style="text-align: center;">★授業の進度等により、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合があります★</p> ※副教材「マドンナ古文単語 230」の中から、単語テストを適宜行う。副教材は適宜使用する。 ※授業内において「防災」に関する内容に触れる。 <b>【第一回 定期試験範囲】</b> 文法/古文知識/古文「竹取物語」 <b>【第二回 定期試験範囲】</b> 文法/古文知識/古文(1作品)/現文「羅生門」 <b>【第三回 定期試験範囲】</b> 文法/古文知識/漢文「矛盾」/現文「山月記」								



教科	国語	科目	国語演習	授業 時数		週1時間		教材	入試現代文へのアクセス(河合出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年2組～8組										
時期		項目				到達目標					
前期	5～7月	例題A～第二問 ・対比 ・具体例 ・言い換え  第1回定期試験				入試現代文に向け、「対比」、「具体例」、「言い換え」などの基本的な構造を理解する。 文章の読み方、問題の解き方の知識を身に付ける。  定期試験は授業内試験で実施					
夏休み											
前期	9月	第三問 ・問題演習				一学期で学習した内容の実践。					
後期	10～12月	第四問～第八問 ・問題演習  第2回定期試験				様々な問題を通して、「小説」や「評論」などの読解方法を身に付け、慣れる。  定期試験は授業内試験で実施					
冬休み											
後期	1～3月	第九問～第十二問 ・問題演習  内閣府「防災情報のページを読みながら、「防災」について学ぶ。  重要性について考える。  第3回定期試験				分量の多い問題を取り扱い実践的な読み方、問題の解き方を身に付ける。 一つの問題に、時間をかけすぎず、適切な解答を導き出す力を養成する。  定期試験は授業内試験で実施					

教科	地理	科目	地理総合	授業 時数		週2時間		教材	高等学校 新地理総合 (帝国書院)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～8組										
時期		項目					到達目標				
前期	4月	<b>第1章 生活文化の多様性と国際理解</b> <b>2節 世界の気候と人々の生活</b> 乾燥した大陸と太平洋の島々での生活ーオセアニアー モンスーンの影響を受ける地域での生活ー東南アジアー					・オセアニアの特徴について理解する ・東南アジアの特徴について理解する				
	5月	<b>3節 世界の言語・宗教と人々の生活</b> 世界の言語と宗教、人々の生活文化 イスラームと人々の生活の関わりー中央アジア・西アジア・北アフリカー ヒンドゥー教と人々の生活の関わりーインドー <b>4節 歴史的背景と人々の生活</b> 移民の歴史と人々の生活の関わりーラテンアメリカー 植民地支配の歴史と人々の生活の関わりーサハラ以南アフリカー <b>第1回定期試験（試験範囲:上記単元項目）</b>					・世界の言語と宗教について理解する ・イスラム教について理解する ・ヒンドゥー教について理解する ・移民について理解する ・植民地について理解する <b>試験範囲 P78～114</b>				
夏休み											
前期	9月	防災学習① 国家体制の変化と人々の生活の関わりーロシアー <b>5節 世界の産業と人々の生活</b> 人々の生活を支える農業、工業の発展 グローバル化する現代の産業と人々の生活					・地理に関する内容を踏まえて、防災について学ぶ。 ・ロシアの特徴について理解する ・世界の農業と工業について理解する ・グローバル化する産業について理解する				
後期	10月	産業力が世界の生活文化に与える影響ーアメリカ合衆国ー 経済成長による人々に生活の変化ー東アジアー 地域統合が人々の生活や産業に与える影響ーヨーロッパー					・アメリカの特徴について理解する ・東アジアの特徴について理解する ・ヨーロッパの特徴について理解する				
	11月	<b>第2章 地球的課題と国際協力</b> <b>1節 複雑に絡み合う地球的課題</b>					・地球環境問題について理解する				
	12月	<b>2節 地球環境問題</b> <b>3節 資源・エネルギー問題</b> <b>第2回定期試験（試験範囲:上記単元項目）</b>					・地球環境問題について理解する ・世界のエネルギー問題について理解する <b>試験範囲 P116～162</b>				
冬休み											
後期	1月	防災学習② <b>4節 人口問題</b>					・地理に関する内容を踏まえて、防災について学ぶ。 ・世界の人口問題について理解する				
	2月	<b>5節 食料問題</b>					・世界の食料問題について理解する				
	3月	<b>6節 都市・居住問題</b> <b>第3回定期試験（試験範囲:上記単元項目）</b>					・世界の都市問題について理解する <b>試験範囲 P164～184</b>				
春休み											

教科	地理・歴史	科目	地理総合	授業 時数		週2時間		教材	高等学校 新地理総合 帝国書院	種別	高校	
学年 組 類型	高等学校1年9組											
	時期	項目					到達目標					
前期	4月 }	<b>第1部 地図でとらえる現代世界</b> 第1章 理図と位置情報システム 1節 地球上の位置と時差					① 現代世界の中で見られる様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付き、地図や地理情報システムの役割について理解させ、資料から情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的な技能を身に付けさせる。そして、まとめた情報を基に多面的・多角的に考察させ、自らの意見を表現する力を養う。					
	5月 }											
	6月	第2章 結び付きを深める現代世界 2節 グローバル化する世界 教科書p.6～p.43										
前期	6月	<b>第2部 国際理解と国際協力</b> 第1章 生活文化の多様性と国際理解 序節 生活文化の多様性 }					② 世界の人々の特色ある生活文化の基盤となる地理的環境について理解させ、資料から情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的な技能を身に付けさせる。そして、まとめた情報を基に多面的・多角的に考察させ、自らの意見を表現する力を養う。					
	7月	1節 世界の地形と人々の生活 3 安定地域と人々の生活 教科書p.44～p.51 <b>第1回定期試験</b>										
夏休み		自宅学習					各自、自宅にて学習に取り組む。					
前期	9月	1節 世界の地形と人々の生活 4 河川がつくる人々の生活 }					③ 世界の特色ある文化が地理的環境から多大な影響を受けていることについて理解させ、資料から情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的な技能を身に付けさせる。そして、まとめた情報を基に多面的・多角的に考察させ、自国の文化を尊重し、国際理解を図ることの重要性について気付かせる。					
		2節 世界の気候と人々の生活 教科書p.52～p.77										
後期	10月 }	乾燥した大陸と太平洋の島々での生活 -オセアニア-					④ 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目させ、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察させ、表現させることを目指す。尚、この範囲については、地理的環境と関わり深い特色ある事例のみ取り扱い、日本との共通点や相違点に着目させることに学習内容を絞ることで、全ての追究事例を紹介するように留意する。					
	11月	地域統合が人々の生活や産業に与える影響 -ヨーロッパ- 教科書p.78～p.145										
	11月	第2章 地域的課題と国際協力 1節 複雑に絡み合う地域的課題 }										
	12月	3節 資源・エネルギー問題 教科書p.146～p.163 <b>第2回定期試験</b>					⑤ 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題について、各地で共通する傾向性や課題相互の関連性を資料から読み取らせ、理解させる。そして、情報を基に要因や解決策について多面的・多角的に考察させ、表現させることを目指す。					
冬休み		自宅学習					各自、自宅にて学習に取り組む。					
後期	1月	4節 人口問題 ～ 6節 都市・居住問題 教科書p.166～p.189					⑥ 世界各地で見られる人口・食糧問題、居住・都市問題について、各地で共通する傾向性や課題相互の関連性を読み取らせ、理解させる。そして、情報を基に解決策について多面的・多角的に考察させ、表現させる。					
	2月	<b>第3部 持続可能な地域づくりと私たち</b> 教科書p.190～p.227										
	3月	<b>第3回定期試験</b>										
春休み		自宅学習					各自、自宅にて学習に取り組む。					

教科	地理・歴史	科目	歴史総合	授業 時数	週2時間	教材	歴史総合 近代から現代へ (山川出版社)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～8組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	諸地域世界の形成			16世紀以前の諸地域の成り立ちや発展を学び、各地の経済や宗教、特徴を理解する。 16世紀頃のアジア世界の発展とヨーロッパ世界の政治体制の形成過程、アジア世界とヨーロッパ世界の接触を学び、世界の一体化の要因について理解する。				
	5月	結びつく世界							
	6月	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立			アメリカ独立革命・フランス革命を経験したヨーロッパ・アメリカの発展、アジア世界との関りを学び、日本を含めたアジアの世界的な立場について理解する。				
	7月	明治維新と日本の立憲体制			近代化に向けた日本の政治について学び、太平洋戦争への道のきっかけを理解する。				
		帝国主義の展開とアジア			明治期の日本の政治を学び、帝国主義的な世界の潮流に飲みこまれ、軍国主義化の道筋を理解する。				
		<b>第一回定期試験</b>			結びつく世界～帝国主義の展開とアジア				
夏 休 み		自宅学習			夏休みの課題				
前期	9月	第一次世界大戦と大衆社会			第一次世界大戦とその後の世界について学び、政治・経済・大衆社会・民族運動などに与えた影響について理解する。				
		関東大震災と防災			関東大震災など日本の災害の歴史を振り返り、防災について考える				
後期	10月	経済危機と第二次世界大戦			世界の経済状況と人々の動向が政治に与えた影響を学び、第二次大戦・太平洋戦争へと進んでしまった過程を理解する。				
	11月								
	12月	戦後の国際秩序と日本の改革			戦後の歴史を学び、日本がアジアに及ぼした影響や現在の日本へとつながる民主的な政治への転換を理解する。				
		<b>第二回定期試験</b>			第一世界大戦と大衆社会～戦後国際秩序と日本の改革				
冬 休 み		自宅学習			冬休みの課題				
後期	1月	冷戦と世界経済			第二次世界大戦後の世界について学び、世界の対立構造やその変化の本質を理解し、今後の世界について考える。				
	2月	グローバル化する世界							
	3月	現代の課題			日本と世界の課題について学び、これからの世界を生きることについて考える。				
		<b>第三回定期試験</b>			冷戦と世界経済～現代の課題				
春 休 み		自宅学習			各自の進度に応じて問題演習を行う				

教科	地理・歴史	科目	歴史総合	授業 時数		週2時間		教材	歴史総合 山川出版社	種別	高校	
学年 組 類型	高等学校1年9組											
	時期	項目					到達目標					
前期	4月 5月 6月 7月	◆帝国主義の展開 ・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強の対立  ◆第一次世界大戦と大衆社会 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・国際平和と安全保障 <b>第1回定期試験</b>					19世紀末～20世紀初、帝国主義政策の下、 列強の植民地獲得争いの本質的理由と 各国内政の展開を知る。  第一次世界大戦の原因を振り返り、大戦が各国の 社会と国際秩序にどのような変化をもたらしたのかを 考察する。					
夏 休 み												
前期	9月	◆経済危機と第二次世界大戦 ・世界恐慌の発生と各国の対応					戦間期における経済危機が欧米・日本にどのような 影響があつて第二次世界大戦に突入したのかを 考察する。					
後期	10月 11月 12月	・ファシズムの台頭  ・満州事変、日中戦争  ・第二次世界大戦、太平洋戦争 ・新たな国際秩序、占領下の日本 <b>第2回定期試験</b>					社会不安のなかで台頭したファシズムと各国の対応 から大戦開戦を考える。 満州事変、政党内閣断絶から軍国主義にすすむ 日本が国際社会に与えた影響を考える。 二度の世界大戦を経て、国際社会の新たな平和への 取り組みと日本の改革を知る。					
冬 休 み												
後期	1月 2月 3月	◆冷戦と世界経済 ・集団防衛体制と核開発 ・米ソ両大国と平和共存 ・冷戦構造のゆらぎと終結 <b>第3回定期試験</b>					第二次世界大戦後の米ソを中心とする集団防衛 体制の構築と核兵器開発がおよぼす国際社会への 影響を知り、その後の東西対立終結までの過程を 考える。  * 戦争時の人的災害と自然災害時の防災対策を 考える。					
春 休 み												

教科	数学	科目	数学 I	授業 時数	週3時間	教材	啓林館 新編数学 I	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～9組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	第1章 数と式			<p>整式の整理の方法、整式の加法・減法について理解する。整式の乗法を公式を利用し効率よく展開できるようにする。乗法公式から因数分解の公式を理解し、因数分解ができるようにする。</p> <p>数の範囲を整数、有理数、実数へと拡張し、無理数、実数の意味とその性質を理解する。</p> <p>不等式の性質や不等式の解の意味・解法を理解し、1次関数を解けるようにする。</p> <p>集合の表し方について基本的な考え方を理解する。命題とその逆、対偶の相互関係を理解する。</p> <p>関数の意味を理解し、2次関数のグラフのかき方と特徴を理解し、グラフをかけるようにする。</p>				
		第1節 整式							
	5月	第2節 実数							
		第3節 1次不等式							
	6月	第2章 集合と命題							
	第1節 集合と命題								
	第3章 2次関数								
	7月	第1節 関数とグラフ							
	第1回定期試験								
夏 休 み									
前期	9月	第2節 2次関数の最大・最小			2次関数のグラフを利用して、最大値・最小値を求めることができるようにする。				
後期	10月	第3節 2次関数と方程式・不等式			2次方程式のグラフとx軸との共有点のx座標が2次方程式の実数解であることを理解する。2次関数のグラフと2次不等式の解の関係を理解し、2次不等式を解けるようにする。				
	11月	第4章 図形と計量			<p>直角三角形における三角比の意味と三角比を利用した基本的な計量について理解する。</p> <p>座標を用いて三角比を定義し、角の範囲を<math>0^\circ</math> から<math>180^\circ</math> までの関係を理解する。</p>				
	12月	第2節 鈍角の三角比							
	第2回定期試験								
冬 休 み									
後期	1月	第3節 図形と計量			三角形において3辺の長さや3つの角の大きさとの間に成り立つ基本的な関係(正弦定理と余弦定理)を理解し、それらを利用して、未知である辺の長さや角の大きさを求めることができるようにする。三角比を利用して、三角形、多角形の面積・立体の体積を求める方法を理解する。				
	2月	第5章 データ分析			<p>データで使われる用語を理解し、箱ひげ図を作れるようにする。分散と標準偏差の意味を理解し求められるようにする。2種類の変量について、散布図から相関関係をとらえることや、相関係数の求め方を理解する。変量間の相関を調べることの意義と意味を理解する。</p> <p>統計的探究プロセスのモデルとしてPPDACサイクルなどで身の回りの問題を考える。</p> <p>防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。</p>				
	3月	第2節 データの相関							
	第3節 統計的な見方								
	第3回定期試験								
春 休 み									

※選抜クラスは、Focus Gold Smartを併用する。

教科	数学	科目	数学A	授業 時数	週2時間	教材	啓林館 新編数学A	種別	高校	
学年 組 類型	高等学校1年1組～9組									
時期	項目			到達目標						
前期	4月	序節 集合			<p>集合の用語や記号の意味を理解し、いろいろな集合を表せるようする。また、集合の要素の個数を求められるようにする。</p> <p>場合の数の意味を理解し、和の法則・積の法則を利用して、場合の数を求められるようにする。</p> <p>順列の意味を理解し、いろいろな順列を求められるようにする。組合せの意味を理解し、組合せを求められるようにする。</p> <p>試行と事象の意味を理解し、確率の定義を理解し、確率を求められるようにする。</p> <p>順列や組合せの数をを用いた確率、確率の基本性質、余事象の確率を理解し、それらの確率を求められるようにする。</p>					
		第1章 場合の数と確率								
	5月	第1節 場合の数								
		第2節 順列・組合せ								
	6月	第3節 確率とその基本性質								
	7月	第1回定期試験								
夏 休 み										
前期	9月	第4節 いろいろな確率			<p>試行が独立であるときの事象の確率を求められるようにする。反復試行の確率を求められるようにする。</p> <p>条件付き確率を乗法定理を使って求められるようにする。</p>					
後 期	10月	第2章 図形の性質			<p>三角形の性質を理解・確認をし、三角形の重心・外心・内心を理解し、それらの性質を使って問題を解けるようにする。</p> <p>チェバの定理とメネラウスの定理を利用した問題を解けるようにする。</p> <p>円の性質について理解し、問題を解けるようにする。円と直線の関係を理解し、問題を解けるようにする。</p> <p>立体の性質など空間における図形について理解する。多面体の面、辺、頂点、対角線についてを理解する。</p>					
		第1節 三角形の性質								
	11月	第2節 円の性質								
	12月	第3節 空間図形								
		第2回定期試験								
冬 休 み										
後 期	1月	第3章 数学と人間の活動			<p>ユークリッドの互除法を理解し、最大公約数を求められるようにする。不定方程式を理解し、整数解を求められるようにする。</p> <p>整数や座標などと人間の活動との関わりについて数学的な見方を学ぶとともに、ゲームなどを通して数学と文化との関わりを知る。</p> <p>防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。</p>					
		ユークリッドの互除法 / 二元一次不定方程式								
		倍数の判定 / 位取り記数法とn進法								
	2月	座標 / 地球を測る								
		石取りゲーム / マスの敷き詰め								
		第3回定期試験								
春 休 み										

※選抜クラスは、Focus Gold Smartを併用する。



教科	数学	科目	数学 I A演習	授業 時数		週1時間		教材	啓林館 Focus Gold Smart 数学 I +A	種別	高校
学年 組 類型	高校1年選択者										
時期		項目				到達目標					
前期	5月	第1章 数と式 数学 I ・多項式の計算、因数分解 ・実数と式の値 ・1次不等式				Focus Gold Smart 数学 I +AのStep Upの問題を中心に扱い、標準・発展問題を解けるようにする。  授業の進度にあわせて扱う範囲を変える  試験は第1回定期試験期間の前に、授業内で行う。					
	6月	第2章 2次関数 数学 I ・2次関数のグラフ・2次関数の最大、最小 ・2次関数と方程式・不等式									
	7月	第6章 場合の数 数学A ・場合の数・順列・組合せ 第7章 確率 数学A ・確率の基本性質 <b>定期試験</b>									
夏 休 み											
前期	9月	第4章 図形と計量 数学 I ・三角比の定義、性質 ・正弦定理と余弦定理 ・図形の計量									
後期	10月	第8章 図形の性質 数学A ・三角形の性質				試験は第2回定期試験期間の前に、授業内で行う。					
	11月	・円の性質 ・作図									
	12月	・空間図形 <b>定期試験</b>									
冬 休 み											
後期	1月	第3章 集合と命題 数学 I ・集合 ・命題と条件 ・命題と証明				試験は第3回定期試験期間の前に、授業内で行う。 防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。					
	2月	第5章 データ 数学 I ・データの整理と分析									
	3月	第9章 整数・数学と人間活動 数学A ・約数と倍数 ・整数の除法と余りによる分類 ・不定方程式 ・整数の性質の活用 ・数学とパズル・ゲーム <b>定期試験</b>									
春 休 み											

教科	理科	科目	化学基礎	授業 時数	週2時間	教材	化学基礎 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～8組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	物質の成分と構成元素			物質を分類し、その成分の構成粒子について理解する。				
	5月	原子の構造と元素の周期表			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>防災学</b>  「混合物の分離」において、各種分離操作を用いた「飲料水を確保する手法」について探究・実験を行う。  また、その他の各原理や物質が、身近な防災手段やグッズへ応用されていることを、単元ごとに都度触れ、興味・理解を深める。 </div>				
	6月	化学結合							
	7月	第1回定期試験							
夏休み									
前期	9月	化学結合 原子量・分子量・式量			金属結合のしくみと性質について理解し、化学結合の違いから物質を分類できるようにする。 原子や分子の相対質量を理解させる。				
	10月 11月 12月	物質量 化学反応式			原子や分子の質量、個数を扱う方法を理解する。 物質の変化と原子の組み換えを理解する。化学反応を式で表記できるようにし、その量的関係を理解する。				
後期		第2回定期試験			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>選抜クラス</b>  語句の暗記にとどまらず、原理をとらえることに重点をおく。  そこから、知識、思考の連携、応用力を身につけ、共通テスト対応レベルを到達目標とする。  インプレスによる演習に加え、小テスト、共通テスト過去問にて習熟度を測る。 </div>				
冬休み									
後期	1月	酸と塩基			酸と塩基の定義を理解し、その強弱をpHで表すことを学ぶ。 中和反応とその量的関係について理解する。 中和滴定の器具、操作について学ぶ。				
	2月	中和反応							
	3月	第3回定期試験							
春休み									

教科	理科	科目	生物基礎	授業 時数	週2時間	教材	生物基礎 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年9組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	<b>1編 生物の特徴</b> 1章 生物の多様性と共通性			生物の起源とすべての生物に備わる機能について学ぶ。				
	5月	2章 生物とエネルギー			生体内におけるエネルギーの吸収と放出について学び、それに伴う化学反応を理解する。				
	6月	<b>2編 遺伝子とそのはたらき</b> 1章 遺伝情報とDNA			生物のDNAの構造について学び、DNA複製の仕方や、細胞分裂時におけるDNA量の変化を理解する。				
	7月	<b>第1回定期試験</b>							
夏 休 み		4月～7月までの総復習							
前期	9月	2章 遺伝情報とタンパク質			タンパク質の構造を学び、タンパク質合成のしくみを理解する。また、タンパク質合成に必要なRNAとDNAの違いを明確にする。				
後期	10月	<b>3編 ヒトの体の調節</b> 1章 体内環境と情報伝達			生体内におけるさまざまな調節を神経系とホルモンの2つから学ぶ。災害時などにおこる身体症状と神経系との関連から、生体内で起きていることを理解し、防災教育を行う。				
	11月	2章 免疫のはたらき			生体内で起こるウイルスや細菌に対する反応を学ぶ。				
	12月	<b>第2回定期試験</b>							
冬 休 み		9月～12月までの総復習							
後期	1月	<b>4編 生物の多様性と生態系</b> 1章 植生と遷移			植生の遷移の仕方を学び、世界のバイオームの分布を学ぶ。				
	2月	2章 生態系と生物の多様性			自然界の生態系について学び、人間活動による生態系の保全を伝える。				
	3月	<b>第3回定期試験</b>							
春 休 み		1月～3月までの総復習							

教科	保健体育	科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	ステップアップ高校スポーツ (大修館書店)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組(男子)								
	時期	項目			到達目標				
前 期	1週	【ガイダンス】 【集団行動】 挨拶、集合、整頓、方向変換などの行動様式や授業時の「きまり」や「約束ごと」を理解させる。			【防災教育】 「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。 各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役立てる。 集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。 集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。				
	2週	【バレーボール】 1)基本的技能 ・パス(1対1、円陣パス) ・サーブ ・スパイク 2)集団的技能 ①攻撃 ・レシーブ～トス～スパイク(三段攻撃) ②防御 ・サーブレシーブからの攻撃 ・チャンスボールからの攻撃 ・ブロック 3)ゲーム形式による練習 4)ゲーム			基本的な技能を身に付け、サーブレシーブからトス、スパイクを使った三段攻撃ができるようにする。 また、ブロックやチャンスボールからの攻撃技能を身に付け、ゲームができるようにする。				
	3週	【体づくり運動】 ＜新体力テスト＞ 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20mシャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ			体力・運動能力の状態を確かめるためのテスト。この結果をよく分析して、不足している能力を高めるためにいろいろなスポーツ活動に親しみ、心身を鍛錬して健康で充実した生活が送れるようにする。				
後 期	5週	【マット運動】 1)基本的な技の練習 ・回転系の技(前転、開脚前転、後転、開脚後転) ・支持系の技(倒立前転、後転倒立) ・転回系の技(側転、前方倒立回転) 2)連続技と転回系の技の練習 ・連続技の練習 ①倒立前転～垂直ジャンプ半ひねり～後転～後転倒立 ②側転～前方倒立回転 3)試験			自分の意志で身体を自由に動かすことができる能力を身に付け、めざす動きに向けて身体の特定位を意識的に動かすことができるようにする。 運動に移るための踏み切りとして、片足踏み切りと両足踏み切りの2つを習得する。 また、習得した技を組み合わせた連続技がスムーズにできるようにする。				
	6週	【ソフトボール】 1)基本的技能 ①守備 ・キャッチボール(送球と捕球) ・キャッチング(ゴロ、フライ) ・ピッチング(下投げ) ②攻撃 ・バットの握り方 ・バッティング 2)発展的技能(ゲーム形式による練習) ①守備練習 ・定位置でのノック(捕球) ・連携プレー(捕球→送球) ・ゲーム形式による守備練習 ②攻撃 ・バッティング(フリー) ③走塁 ・状況に応じた走塁			投げる、捕る、打つ、走るなどの基本的技能を身に付ける。相手の攻防に応じて作戦を立てながらゲームができる。 また、状況に応じた打撃や走塁と守備の連携プレーによって、攻防を展開できるようにする。				

教科	保健体育	科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	ステップアップ高校スポーツ (大修館書店)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校1年2組～9組(男子)								
	時期	項目			到達目標				
前 期	年天 間候 をな 通ど の条 右記 のよ り内 容を 施行 内容 が変 わら すこ とも あり 、実 施内 容の 順番 が異 なり ます 。	<p>【ガイダンス】</p> <p>【集団行動】</p> <p>挨拶、集合、整頓、方向変換などの行動様式や授業時の「きまり」や「約束ごと」を理解させる。</p> <p>【体づくり運動】</p> <p>&lt;新体力テスト&gt;</p> <p>握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20mシヤトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ</p> <p>【ソフトボール】</p> <p>1) 基本的技能</p> <p>① 守備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチボール(送球と捕球)</li> <li>・キャッチング(ゴロ、フライ)</li> <li>・ピッチング(下投げ)</li> </ul> <p>② 攻撃</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バットの握り方</li> <li>・バッティング</li> </ul> <p>2) 発展的 skill (ゲーム形式による練習)</p> <p>① 守備練習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定位置でのノック(捕球)</li> <li>・連携プレー(捕球→送球)</li> <li>・ゲーム形式による守備練習</li> </ul> <p>② 攻撃</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バッティング(フリー)</li> </ul> <p>③ 走塁</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じた走塁</li> </ul>			<p>【防災教育】</p> <p>「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。</p> <p>各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役立てる。</p> <p>集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。</p> <p>集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。</p> <p>体力・運動能力の状態を確かめるためのテスト。この結果をよく分析して、不足している能力を高めるためにいろいろなスポーツ活動に親しみ、心身を鍛錬して健康で充実した生活が送れるようにする。</p> <p>投げる、捕る、打つ、走るなどの基本的技能を身に付ける。相手の攻防に応じて作戦を立てながらゲームができる。また、状況に応じた打撃や走塁と守備の連携プレーによって、攻防を展開できるようにする。</p>				
後 期		<p>【バレーボール】</p> <p>1) 基本的技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パス(1対1、円陣パス)</li> <li>・サーブ</li> <li>・スパイク</li> </ul> <p>2) 集団的 skill</p> <p>① 攻撃</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レシーブ～トス～スパイク(三段攻撃)</li> </ul> <p>② 防御</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーブレシーブからの攻撃</li> <li>・チャンスボールからの攻撃</li> <li>・ブロック</li> </ul> <p>3) ゲーム形式による練習</p> <p>4) ゲーム</p> <p>【マット運動】</p> <p>1) 基本的な技の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回転系の技(前転、開脚前転、後転、開脚後転)</li> <li>・支持系の技(倒立前転、後転倒立)</li> <li>・転回系の技(側転、前方倒立回転)</li> </ul> <p>2) 連続技と転回系の技の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続技の練習</li> <li>① 倒立前転～垂直ジャンプ半ひねり～後転～後転倒立</li> <li>② 側転～前方倒立回転</li> </ul> <p>3) 試験</p> <p>【リズム体操】</p> <p>&lt;国士館徒手体操&gt;</p>			<p>基本的な技能を身に付け、サービスレシーブからトス、スパイクを使った三段攻撃ができるようにする。</p> <p>また、ブロックやチャンスボールからの攻撃技能を身に付け、ゲームができるようにする。</p> <p>自分の意志で身体を自由に動かすことができる能力を身に付け、めざす動きに向けて身体の特定位を意識的に動かすことができるようにする。</p> <p>運動に移るための踏み切りとして、片足踏み切りと両足踏み切りの2つを習得する。</p> <p>また、習得した技を組み合わせた連続技がスムーズにできるようにする。</p> <p>ばらつきが目立ちやすい運動であるため、構成された演技内容の一つ一つ正確に身につけリズムカルで伸びやかな演技になるようにする。</p>				

教科	保健体育	科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	ステップアップ高校スポーツ (大修館書店)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校1年2組～9組(女子)								
時期	項目	到達目標							
前 期	<p>年天候などを通し、条件により内容が変化する。実施内容の順番が異なります。</p> <p>【ガイダンス】</p> <p>【集団行動】 挨拶、集合、整頓、方向変換などの行動様式や授業時の「きまり」や「約束ごと」を理解させる。</p> <p>【体づくり運動】 ＜新体力テスト＞ 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20mシャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ</p> <p>【サッカー】</p> <p>1) 基本的技能 ①リフティングおよび各種のキック ②パス練習(グリッド内での3対1、4対2) ③ドリブル、シュートの練習</p> <p>2) 集団的技能 ①ミニゲーム(3対3、5対5の攻防) ②ミニゲーム(7対7の攻防) ③ゲーム・ルール</p>	<p>【防災教育】 「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。 各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役立てる。</p> <p>集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。 集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。</p> <p>体力・運動能力の状態を確かめるためのテスト。この結果をよく分析して、不足している能力を高めるためにいろいろなスポーツ活動に親しみ、心身を鍛錬して健康で充実した生活が送れるようにする。</p> <p>個人的な技能を身に付け、発展的に集団としての技能および戦術を習得する。また、同時にルールの理解も実施する。個人・チームの習熟度により作戦を立ててゲームができるようにする。</p>							
後 期	<p>【バスケットボール】</p> <p>1) 個人的技能 ・ドリブル各種 ・シュート各種 ・移動しながらのパス(対面パス)</p> <p>2) 集団的技能 ・アウトナンバーでの攻防(2対1、3対2) ・マンツーマンディフェンスでの攻防(3対3、5対5)</p> <p>3) ゲーム</p> <p>【マット運動】</p> <p>1) 基本的な技の練習 ・回転系の技(前転、開脚前転、後転、開脚後転) ・支持系の技(倒立前転、後転倒立) ・転回系の技(側転)</p> <p>2) 連続技と転回系の技の練習 ・連続技の練習 ①開脚前転～前転～垂直ジャンプ半ひねり～開脚後転～後転 ②倒立前転～側転</p> <p>3) 試験</p>	<p>個人的技能をもとに、攻撃や防御の戦術をチームで工夫・協力し、意図的に変化に富んだゲームができるようにする。</p> <p>自分の意志で身体を自由に動かすことができる能力を身に付け、めざす動きに向けて身体の特定位を意識的に動かすことができるようにする。 運動に移るための踏み切りとして、片足踏み切りと両足踏み切りの2つを習得する。 また、習得した技を組み合わせた連続技がスムーズにできるようにする。</p>							

教科	保健体育	科目	保健	授業 時数		週1時間		教材	現代高等保健体育 (大修館書店)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～9組										
時期		項目				到達目標					
前期	4月	<ガイダンス> 1単元 現代社会と健康 1. 健康の考え方と成り立ち  2. 私たちの健康のすがた				さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。  わが国の健康水準の変化とその背景について説明できる。 わが国の現在の健康問題について例をあげて説明できる。					
	5月	3. 生活習慣病の予防と回復  2単元 安全な社会生活 2. 安全な社会の形成				生活習慣病の種類と要因について説明できる。 生活習慣病の一次予防、二次予防について例をあげて説明できる。  <b>【防災教育】</b> 安全のために必要な個人の行動について例をあげて説明できる。 すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について例をあげて説明できる。					
	6月	4. がんの原因と予防  5. がんの治療と回復				がんの種類や原因について説明できる。 がんの一次予防と二次予防について例をあげて説明できる。  がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明できる。 がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策について説明できる。					
	7月	6. 運動と健康 <b>【第1回 定期試験】</b>				健康と運動の関係について説明できる。 目的に応じた健康的な運動のしかたについて例をあげて説明できる。					
夏休み		レポート課題									
前期		7. 食事と健康				食事と健康の関係について説明できる。 健康的な食事のとり方について説明できる。					
後期	10月	8. 休養・睡眠と健康  9. 喫煙と健康  10. 飲酒と健康  11. 薬物乱用と健康				健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について説明できる。 健康と睡眠の関係及び健康により睡眠のとり方について説明できる。  喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。 喫煙対策について、個人と社会に分けて例をあげて説明できる。  飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる。 飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について例をあげて説明できる。  薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について説明できる。 薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策例をあげることができる。					
	12月	12. 精神疾患の特徴 <b>【第2回 定期試験】</b>				精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について説明できる。 現代社会における精神保健の課題をあげることができる。					
冬休み											
後期	1月	13. 精神疾患の予防  14. 精神疾患からの回復  15. 現代の感染症				精神疾患を予防する方法について説明できる。 精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できる。  精神疾患の治療について例をあげて説明できる。 精神疾患の適切な治療や回復のためには、どのような社会環境が必要か説明できる。  感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。 新興感染症と再興感染症が流行する要因をそれぞれ説明できる。					
	2月	16. 感染症の予防  17. 性感染症・エイズとその予防				感染症の予防対策について3原則から例をあげて説明できる。 感染症への個人と社会の対策について例をあげて説明できる。  性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について説明できる。 性感染症・エイズの予防とその対策について個人と社会に分けて例をあげることができる。					
	3月	18. 健康に関する意思決定・行動選択 <b>【第3回 定期試験】</b>				意思決定・行動選択に影響を与える要因について説明できる。 健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について例をあげて説明できる。					
春休み											



教科	保健体育	科目	武道(柔道)	授業 時数		週2時間		教材	柔道教本 (共栄出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～9組 (選択)										
時期	項目				到達目標						
前期	4月	《ガイドンス》(柔道・剣道合同) 授業内容、指導方法の説明 柔道・剣道の選択			柔道の歴史や精神を学ぶとともに武道の特性である、礼に始まり礼に終わるなどから、礼儀正しく、他を思いやる心を養う。柔道の基本である正しい姿勢を身につけ、安全性に留意して練習する態度を養う。全て安全最優先で行う。						
		柔道の基本(着衣・礼法・歴史)			礼法は正しく日常でも出来るようにする。						
	5月	受身の取り方(後・横・前)			全ての受身は、頭をつかないようになるまで行う。						
	6月	受身の取り方(前回り受身)			スムーズに回転して強く畳を叩くこと。						
	7月	試験			前回り受身を左右行う。						
夏休み											
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方 投げ技(大腰)			安全な経路の確認、自助について学ぶ かかり練習(打ち込み) 受身の取り方を確実にする。  投げは、相手に配慮をして投げる。受は投げに投げやすく配慮する						
後期	10月	投げ技 (背負い投げ・体落とし・大外刈り)			どの方向に投げられても確実に受身をとれること。  投げは、相手に配慮をして投げる。						
	11月	投げ技 (背負い投げ・体落とし・大外刈り)  試験			受は投げに投げやすく配慮する。  背負い投げ・相手に配慮をした投げ方、受身の取り方を評価する。抑技のポイント、逃れ方を覚える。						
	12月	固め技—抑技(袈裟固め・横四方固め・上四方固め) 立技、固め技の約束練習(乱取り)			立技は投げる事より受身を重視  初めは約束稽古を行い少しずつ強度を上げて行えるようにする。(受身は正確にする)安全最優先で行わせる。						
		立技、固め技の自由練習(乱取り)			相手に配慮をして投げる。確実に受身を取れるようにする。						
冬休み											
後期	1月	立技、固め技の自由練習(乱取り)			立技は投げる事より受身を重視する。						
	2月	立技、固め技の自由練習(乱取り)			初めは約束稽古を行い少しずつ強度を上げて行えるようにする。(受け身は正確にする)安全最優先で行わせる。						
	3月	試験			体落とし・大外刈り 相手に配慮をした投げ方、受身の取り方を評価する。						
春休み											

教科	保健体育	科目	武道(剣道)	授業 時数	週2時間	教材		種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～9組 (選択)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	《ガイドランス》(柔道・剣道合同) 授業内容、指導方法の説明 柔道・剣道の選択 礼法・正座の正しい方法			剣道の歴史や精神を学ぶとともに武道の特性である礼に始まり礼に終わるなどから礼儀正しく他を思いやる心を養う。剣道の基本である正しい姿勢を身につけ、安全性に留意して練習する態度を養う。				
	5月	剣道着の着装			体のサイズに合った剣道着を着る。				
		足捌き…送り足			前後左右の足の使い方から基本動作を身につける。				
	6月	竹刀の名称と注意			竹刀の名称を覚えるとともに竹刀の危険性と刀として、大切に扱うことから物を大事にする心を養う。				
構え			正しい姿勢・正しい竹刀の握り方を覚える。						
7月	素振り…面・小手・胴の三挙動			大きい動作で大きい声を出して行う。					
	試験 素振り…面・小手・胴一挙動、小片面二挙動 小片面胴三挙動 試験			足捌き 大きい動作で円滑に連続素振りが出来る様にする。小手と面の位置を明確にする。 素振り					
夏 休 み									
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方			安全な経路の確認、自助について学ぶ。				
		踏み込み足			姿勢が崩れない様に右足で踏み込み左足を蹴って引き付ける。				
後期	10月	打ち込み…元立ちを付けて行う 面・小手・胴の打ち込み			姿勢が崩れない様に声・打突・踏み込みを同時にし、気剣体一致の打ち込みが出来る様にする。				
		防具のつけ方・しまい方			防具の説明。防具の正しいつけ方。最後まで丁寧に片付けをする。				
	11月	基本打ち…面			気剣体一致の打ちを出来る様にする。元立ちを出来る様にする。				
	12月	切り返し			大きく正しく出来るようになる。				
冬 休 み									
	試験			基本打ち…面					
後期	1月	切り返し			大きく正しく出来る様にする。切り返しによって、あらゆる基本動作を身につける。				
	手拭いを用いた防災活用術			包帯や三角巾などの活用術を身につける。					
	2月	基本打ち…面・小手・胴			正しい姿勢から大きく打ち込む。面・小手・胴打ちの違いを理解させ正しい体捌きを身につける。				
3月	試験			切り返し					
春 休 み									

教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅠ	授業 時数	週 3 時間	教材	LANDMARK Fit LANDMARK Fit サブノート LANDMARK Fit workbook	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	Lesson 1 Enjoy Your Journey!			不定詞(名詞・副詞的用法)、動名詞 *SVの語順への理解を深める。 *目標設定方法を学び、目的意識を持った高校生活の実現を目指す。				
	5月	Lesson 2 Curry Travel around the World			現在完了(継続・経験・完了)、受動態 *英語の時制を理解する。英語の文型の理解を目指す。 *食を通して文化は世界へ伝播し多様性を生むことを学ぶ。				
	6月	Lesson 3 School Uniforms			比較、分詞、主格の関係代名詞 *語形の変化、主格の関係詞の理解を目指す。 *衣服を通して多文化を学び、自分の意見を表現の仕方を学ぶ。				
	7月	第一回定期試験			◆ノートを取ること及び授業で配布されたプリントを保管することを週1回のノート回収で習慣づける				
夏休み	7月	夏休みの課題			9月の授業内容の単語調べ				
	8月								
前期	9月	Lesson 4 Eco-Tour on Yakushima			関係詞(what, why, where, when) *関係詞の理解しを深める。環境に関する語を学ぶ。 *世界遺産と自然保護について考える。				
後期	10月	Lesson 5 Bailey the Facility Dog			不定詞意味上主語、間接疑問文、知覚動詞、使役動詞 *不定詞、間接疑問文、知覚・使役動詞を理解する。 *介助犬への理解を深め、現状を知り、問題点を考える。				
	11月	Lesson 6 Communication without Words			補語that節、対比while、形式目的語it、間接疑問文 *SVC、接続詞の使い方を理解する。形式目的語を学ぶ。 *非言語コミュニケーションの重要性を知り、身近な問題点を考える。多様な非言語コミュニケーションを通して異文化理解を深める。				
	12月	Lesson 7 Dear World: Bana's War			関係詞の非制限用法、分詞構文 *関係詞の非制限用法を理解する。分詞構文を読み取る。 *平和の尊さを学び、インターネットの可能性を探る。 ◆黒板を写すだけでなく、自分に必要な情報を取捨選択し、メモを取れるようにしていく。				
冬休み	12月	冬休みの課題			1月の授業内容の単語調べ				
	1月								
後期	1月	Optional Lesson 2 Friendship over Time ★[防災教育] 日本の台風災害に関する英文記事を読む ★[英検受験] 過去問、スタディサプリENGLISH			一年間の文法総復習。2つの時間軸を読み取る。 *形式主語、知覚・使役動詞、関係詞、時制の理解を深める。 *両国間の歴史を通して国際協力関係について学ぶ。 ★[防災教育] 災害時に役立つ英単語、英語表現を学ぶ。災害時に言語を選ばず他者を助けられる人物の育成を目指す。				
	2月	Optional Lesson 1 Space Elevator			仮定法過去、形式主語、副詞節のIf *仮定法過去、形式主語、副詞節中の動詞への理解を深める。 *科学技術がもたらす無限の可能性について思いをめぐらす。				
	3月	第三回定期試験			◆引き続き自分に必要な情報を取捨選択しメモを取れるようにしていくと共に、それを自分自身の活動に還元できるようにしていく。				
春休み									
備考					副教材としてジーニアス英和辞典を授業で使用し、単語の調べ方を学ぶ。 年間通してスタディサプリENGLISHで音声指導を行い、各自英検合格を目指す。				

教科	英語	科目	英語コミュニケーション I	授業 時数	週3時間	教材	LANDMARK English Communication I	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校1年2組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	Lesson 1 Enjoy Your Journey! 文法:動名詞/不定詞			<p>&lt;語彙&gt; 朝テストにて週4実施(毎日30単語) 『でる順パス単英検2級』を1年間繰り返すことで確かな単語力を身に付け、英語力の基礎を築く。</p> <p>&lt;音声&gt; 発音記号やフォニックスといった基礎から学び、音読をすることで「発した音は聴き取れる」口と耳を養う。</p> <p>&lt;英文読解&gt; 前期:初歩レベルの英文を数多く読み、英文を読むことに慣れる。 後期:読解に必要な構文を含んだ英文を精読し、基礎力を育成する。</p> <p>&lt;リスニング&gt; 「スタディサプリEnglish」を活用し、リスニング力および正しい発音を身につける。</p>				
	5月	★GTEC 受検							
	6月	Lesson 2 Curry Travels around the World 文法:分詞の後置修飾/現在完了形							
	7月	Lesson 3 School Uniforms 文法:受動態							
		<b>【第一回定期試験】</b>							
夏 休 み	8月				<p>&lt;夏休みの宿題&gt; 教科書の予習をし、9月の授業で確認をする。</p>				
前期	9月	Lesson 7 Dear World: Bana's War 文法:関係詞の非限定用法			<p>【自宅学習】 自宅学習の方法を示し、自ら学び考え、問題を克服する力を養成する。基礎学力、中学英語の徹底を個別に対応、自宅学習の習慣化を目標とする。</p>				
後 期	10月	★GTEC 受検			<p>【検定試験等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英検…第3回で高1全員受検。選抜コースは高2までに全員準2級取得を目標とする。</li> <li>・GTEC…Benesseによる英語の四技能を測る検定試験。高1ではGRADE 3 (Primary Level/高校英語初級レベル)を目標とする。</li> </ul>				
	11月	Lesson 9 Space Elevator 文法:仮定法過去/倍数表現							
	12月	Lesson 5 Bailey the Facility Dog 文法:過去完了形 / SVO+to不定詞 使役動詞 / 不定詞の意味上の主語							
		<b>【第二回定期試験】</b>							
冬 休 み	1月				<p>&lt;冬休みの宿題&gt; 教科書の予習をし、1月の授業で確認をする。</p>				
後 期	1月	★英検受検 英検対策にて、防災学習を行う。			<p>【その他の副教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『LANDMARK English Communication I サブノート』</li> <li>・『LANDMARK English Communication I WORKBOOK』</li> <li>・『Vision Quest 総合英語』(参考書/三年間使用)</li> <li>・『Genius英和辞典 第6版』(辞書/三年間使用)</li> <li>・『スタディサプリEnglish』(タブレット教材)</li> </ul>				
	2月	Lesson 10 Friendship over Time 文法:仮定法過去完了							
	3月	<b>【第三回定期試験】</b>							
春 休 み	3月	<春休みの課題>							

教科	英語	科目	英語コミュニケーション I	授業 時数	週3時間	教材	LANDMARK E.C. I LANDMARK E.C. I サブノート LANDMARK E.C. I WORKBOOK ジーニアス英和辞典 Vision Quest 総合英語	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校1年3組～8組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	Lesson 1 Enjoy Your Journey! 文法:不定詞/動名詞			辞書・参考書の使い方を学ぶ。ノートの取り方、メモの取り方を学び、実践する。SVの語順への理解を深める。基本的な不定詞、動名詞の使い方を復習する。目標設定方法を学び、目的意識を持った高校生活の実現を目指す。				
	5月	Lesson 2 Curry Travels around the World 文法:分詞の後置修飾/現在完了形			引き続き辞書・参考書の使い方を学び、自分の学習に取り入れる。授業中に情報を取捨選択し、メモを取ることを意識する。基本的な分詞の使い方を復習する。英語の時制を理解し使う。英語の文型の理解する。食を通して文化は世界へ伝播し、多様性を生むことを学ぶ。				
	6月	Lesson 3 School Uniforms 文法:受動態			引き続き辞書・参考書の使い方を学び、自分の学習に取り入れる。自分に必要な情報の取捨選択をし、メモを取ることを習慣づける。基本的な受動態の使い方を復習する。助動詞+受動態を理解し、使える。食を通して文化は世界へ伝播し、多様性を生むことを学ぶ。				
	7月	◆スタディサプリENGLISH 【第一回定期試験】			*各課毎に小テストで内容理解の充実を図る(通年)				
夏 休 み	8月	<夏休みの宿題>			スタディサプリENGLISH				
前期	9月	Lesson 5 Bailey the Facility Dog 文法:SVO + to do/使役動詞/ 不定詞の意味上の主語			一人で学習できるスタイルの確立を目指す。語のまとまりで理解できるように読む。SVO + to do、知覚・使役動詞を理解する。不定詞の意味上の主語を理解し、使えるようにする。介助犬への理解を深め、現状を知り、問題点を考える。				
後 期	10月	Lesson 7 Dear World: Bana's War 文法:関係詞の非制限用法			一人で学習できるスタイルの確立。前に戻って訳さず語のまとまりで英文を理解する。基本的な関係詞を復習する。関係詞の非制限用法を理解し、制限用法との違いも理解する。平和の尊さを学び、インターネットの可能性を探る。				
	11月	Lesson 9 Space Elevator 文法:仮定法過去/倍数表現			自学自習スタイルを確立し、定期試験に向けた学習方法へと導く。前から句ごとに順に読んでいくことに慣れる。基本的な時制を復習し、仮定法過去を理解し使う。基数を復習し、倍数表現を使いこなす。科学技術がもたらす無限の可能性について思いをめぐらす。				
	12月	◆スタディサプリENGLISH 【第二回定期試験】			*週1回スタディサプリを使った音声指導を行い、リスニング及びスピーキングの力を育む(通年)				
冬 休 み		<冬休みの宿題>			スタディサプリENGLISH				
後 期	1月	Lesson 10 Friendship over Time 文法:1年間の総復習 ★[防災教育] 日本の台風災害に関する英文記事を読む			確立した自学自習スタイルで一人で集中し勉強する。前から順に句ごとに読み、英語を日本語に直さず英文を理解する。一年間の既習範囲の英文法の総復習。2つの時間軸を読み取る。両国間の歴史を通して国際協力関係について学ぶ。 ★[防災教育] 災害時に役立つ英単語、英語表現を学び、表現する。災害時に言語を選ばず他者を助けられる人物の育成を目指す。				
	2月	★英検受検 受検級別にリーディング、リスニング、 ライティング対策に取り組む			★[英検対策] 過去問、スタディサプリENGLISHを通して自分の級別で英検学習に取り組み、中学での取得級より一つ上を、未取得生徒は3級以上の合格を目指す。				
	3月	◆スタディサプリENGLISH 【第三回定期試験】							
春 休 み	3月	<春休みの課題>							

教科	英語	科目	英語コミュニケーション I	授業 時数	週3時間	教材	LANDMARK E.C. I LANDMARK E.C. I サブノート LANDMARK E.C. I WORKBOOK	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年9組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	Lesson 1 Enjoy Your Journey! 文法:動名詞/不定詞			・高校生活における目標について考え、自分の 目標を伝えあう				
	5月	Lesson 2 Curry Travels around the World							
	6月	文法:分詞の後置修飾/現在完了形			・カレーのルーツや普及した経緯を理解し、カ レーの好みについて自分の考えを伝え合う  【前期の目標】 句(単語のまとまり)を意識して読む訓練をする				
	7月	【第一回定期試験】							
	8月				<夏休みの宿題>				
前期	9月	Lesson 3 School Uniforms 文法:受動態			・日本と海外の制服事情について理解比較する ・日本と海外の防災について理解比較する				
後期	10月	Lesson 4 Eco-Tour on Yakushima 文法:受動態/関係副詞			・世界遺産屋久島とエコツアーについて理解し、 自然保護の在り方について考える				
	11月	Lesson 6 Communication without Words							
	12月	文法:対比表現/分詞構文  【第二回定期試験】			・非言語コミュニケーションについて理解し、効 果的なコミュニケーションについて考える				
					<冬休みの宿題>				
後期	1月	Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere 文法:部分否定/知覚動詞 ★英検受検			・職業選択や社会起業家について理解し、自分 のキャリアプランについて伝え合う  ・宇宙エレベータを題材として科学的な文章を 読み、宇宙に関する興味について話し合う  【後期の目標】 句(単語のまとまり)を自分で把握し、前から順 に読む(戻り読みをしない)ことを訓練する				
	2月	Lesson 9 Space Elevator 文法:仮定法過去/倍数表現							
	3月	【第三回定期試験】							
	3月	<春休みの課題>			次年度への予習・苦手の克服				

教科	英語	科目	論理表現 I	授業 時数		週2時間		教材	Standard Vision Quest English Logic and Expression I	種別	高校	
学年 組 類型	高等学校1年1組											
時期		項目				到達目標						
前期	4月	Lesson 1 I want to introduce my new friend.					<ul style="list-style-type: none"> <li>・文の種類</li> <li>・応答/理由を述べる</li> </ul>					
	5月	Lesson 2 Do you want to join our show?					<ul style="list-style-type: none"> <li>・文型と動詞</li> <li>・賛成・反対する/聞き直す</li> </ul>					
	6月	Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend.					<ul style="list-style-type: none"> <li>・時制</li> <li>・激励する・励ます・計画する・予定する</li> </ul>					
	7月	<b>【第一回定期試験】</b>										
	夏休み	8月	＜夏休みの課題・夏期講習＞				<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学英語、高1英語導入部の復習</li> <li>・苦手分野の克服</li> <li>・発展学習</li> </ul>					
前期	9月	Lesson 4 Have you ever tried it before?					<ul style="list-style-type: none"> <li>・完了形</li> <li>・経験を尋ねる/初めての経験を述べる</li> </ul>					
後期	10月	Lesson 5 What do you want to do after high school?					<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞</li> <li>・許可・依頼・義務・必要を表す/回想・自省する</li> </ul>					
	11月	Lesson 6 Did you hear about the new shop?					<ul style="list-style-type: none"> <li>・受動態</li> <li>・原因・影響・喜び・驚きを表す</li> </ul>					
	12月	<b>【第二回定期試験】</b>										
冬休み	1月	＜冬休みの課題＞				<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手分野の克服</li> <li>・既習範囲の復習</li> <li>・発展学習</li> </ul>						
後期		英検対策					※Writingで防災についての題材を扱う					
		Lesson 7 I'm happy to have you with us.					<ul style="list-style-type: none"> <li>・不定詞</li> <li>・感謝・謝罪・弁解する</li> </ul>					
	2月	Lesson 8 What sport do you like playing?					<ul style="list-style-type: none"> <li>・動名詞</li> <li>・誘う・申し出る・推薦する</li> </ul>					
		Lesson 9 Digital media has come a long way.					<ul style="list-style-type: none"> <li>・分詞</li> <li>・描写する・根拠を述べる</li> </ul>					
	<b>【第三回定期試験】</b>											
春休み	3月					【副教材】						
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校リード問題集 英文法A</li> <li>・Vision Quest 総合英語 3rd Edition</li> </ul>							



教科	英語	科目	論理表現 I	授業 時数		週2時間		教材	Standard Vision Quest English Logic and Expression I	種別	高校	
学年 組 類型	高等学校1年2組											
時期		項目			到達目標							
前期	4月	Lesson 1	I want to introduce my new friend.			<p>&lt;語彙&gt; 朝テストにて週4実施 (毎日30単語)</p> <p>1) 英語の基礎力徹底、特にドリルによる文法力の育成</p> <p>2) 「文」から「文章」を作成、自らの考えや情報を発信</p> <p>3) 学習習慣を身に付け、進学準備への基礎体力を作る</p> <p>【各課別到達目標—(文法/表現/機能/発音)】</p> <p>・文の種類/応答/理由を述べる</p> <p>・文型と動詞/賛成・反対する/聞き直す</p> <p>・時制/激励する・励ます・計画する・予定する</p>						
	5月	Lesson 2										
	6月	Lesson 3										
	7月	I'm planning a day trip this weekend. 【第一回定期試験】										
夏休み	8月	<夏休みの課題・夏期講習>			<p>・中学英語、高1英語導入部の復習</p> <p>・苦手分野の克服</p> <p>・発展学習</p>							
前期	9月	Lesson 4	Have you ever tried it before?			<p>【到達目標—(文法/表現/機能別表現/発音)】</p> <p>・完了形/経験を尋ねる/初めての経験を述べる</p>						
後期	10月	Lesson 5	What do you want to do after high school?			<p>【到達目標—(文法/表現/機能別表現/発音)】</p> <p>・助動詞/許可・依頼・義務・必要を表す/回想・自省する</p>						
	11月	Lesson 6	Did you hear about the new shop?			<p>・受動態/原因・影響・喜び・驚きを表す</p>						
	12月	【第二回定期試験】										
冬休み	1月	<冬休みの課題>			<p>・苦手分野の克服</p> <p>・既習範囲の復習</p> <p>・発展学習</p>							
後期	1月	★英検受検 英検対策にて、防災学習を行う。			<p>【到達目標—(文法/表現/機能別表現/発音)】</p>							
	2月	Lesson 7	I'm happy to have you with us.			<p>・不定詞/感謝・謝罪・弁解する</p>						
		Lesson 8	What sport do you like playing?			<p>・動名詞/誘る・申し出る・推薦する</p>						
		【第三回定期試験】										
春休み	3月				<p>【副教材】</p> <p>・高校リード問題集 英文法A</p> <p>・Vision Quest 総合英語 3rd Edition</p>							

教科	英語	科目	論理表現 I	授業 時数	週2時間	教材	Standard Vision Quest English Logic and Expression I	種別	高校	
学年 組 類型	高等学校1年3組～8組									
	時期	項目			到達目標					
前期	4月	Lesson 1 I want to introduce my new friend.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文の種類</li> <li>・応答/理由を述べる</li> <li>・文型と動詞</li> <li>・賛成・反対する/聞き直す</li> <li>・時制</li> <li>・激励する・励ます・計画する・予定する</li> </ul>							
	5月	Lesson 2 Do you want to join our show?								
	6月	Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend.								
	7月	【第一回定期試験】								
夏 休 み	8月	<夏休みの課題・夏期講習>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学英語、高1英語導入部の復習</li> <li>・苦手分野の克服</li> <li>・発展学習</li> </ul>					
前期	9月	Lesson 4 Have you ever tried it before?				<ul style="list-style-type: none"> <li>・完了形</li> <li>・経験を尋ねる/初めての経験を述べる</li> </ul>				
後期	10月	Lesson 5 What do you want to do after high school?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞</li> <li>・許可・依頼・義務・必要を表す/回想・自省する</li> <li>・受動態</li> <li>・原因・影響・喜び・驚きを表す</li> </ul>							
	11月	Lesson 6 Did you hear about the new shop?								
	12月	【第二回定期試験】								
冬 休 み	1月	<冬休みの課題>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手分野の克服</li> <li>・既習範囲の復習</li> <li>・発展学習</li> </ul>					
後期		英検対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>※Writingで防災についての題材を扱う</li> <li>・不定詞</li> <li>・感謝・謝罪・弁解する</li> <li>・動名詞</li> <li>・誘る・申し出る・推薦する</li> <li>・分詞</li> <li>・描写する・根拠を述べる</li> </ul>							
		Lesson 7 I'm happy to have you with us.								
	2月	Lesson 8 What sport do you like playing? Lesson 9 Digital media has come a long way. 【第三回定期試験】								
春 休 み	3月				<ul style="list-style-type: none"> <li>【副教材】</li> <li>・高校リード問題集 英文法A</li> <li>・Vision Quest 総合英語 3rd Edition</li> </ul>					

教科	英語	科目	論理表現 I	授業 時数	週2時間	教材	Standard Vision Quest English Logic and Expression I	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校1年9組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	Lesson 1 I want to introduce my new friend.			☆中学の復習をしながら確実に進める				
	5月	Lesson 2 Do you want to join our show?			・文の種類 ・応答/理由を述べる				
	6月	Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend.			・文型と動詞 ・賛成・反対する/聞き直す				
	7月	【第一回定期試験】			・時制 ・激励する・励ます・計画する・予定する				
夏 休 み	8月	<夏休みの課題・夏期講習>			・中学英語、高1英語導入部の復習 ・苦手分野の克服				
前期	9月	Lesson 4 Have you ever tried it before?			・完了形 ・経験を尋ねる/初めての経験を述べる				
前期	10月	Lesson 5 What do you want to do after high school?			・助動詞 ・許可・依頼・義務・必要を表す/回想・自省する				
	11月	Lesson 6 Did you hear about the new shop?			・防災に関する表現を学ぶ ・受動態				
	12月	【第二回定期試験】			・原因・影響・喜び・驚きを表す				
冬 休 み	1月	<冬休みの課題>			・苦手分野の克服 ・既習範囲の復習				
後 期	1月	Lesson 7 I'm happy to have you with us.			・不定詞 ・感謝・謝罪・弁解する				
	2月	Lesson 8 What sport do you like playing?			・動名詞 ・誘る・申し出る・推薦する				
		Lesson 9 Digital media has come a long way.			・分詞 ・描写する・根拠を述べる				
	【第三回定期試験】								
春 休 み	3月				【副教材】 ・高校リード問題集 英文法A ・Vision Quest 総合英語 3rd Edition				

教科	英語	科目	高1講座	授業 時数		週1時間		教材	英語総合問題集 Wonderland[3rd Edition] 3・4	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年選択者										
時期	項目		到達目標								
前期	5月	UNIT 1 環境 (トライアル) UNIT 2 生物 (トライアル) UNIT 3 文化 UNIT 4 職業	<p>長文から情報を正確に素早く読み取るため、パラグラフを意識しながら要旨を把握する「要約力」と「速読力」を養う。</p> <p>人文・社会・自然とさまざまなジャンルの英文に触れ、文法や語彙だけではなく、長文から基礎知識を学ぶことで、科目を超えた横断的な学びへと広げる。</p> <p>長文を構造的に読解できるよう、「つなぎ言葉」や「言い換え表現」などを学び、読解の基礎知識を習得する。</p>								
	6月	UNIT 5 起源 UNIT 6 物語 UNIT 7 Eメール UNIT 8 物語(速読)									
	7月	【第一回定期試験】									
夏休み			<p>定期試験は試験期間の前に授業内にて実施する。</p> <p>第1回 7/1(土)予定 第2回 12/9(土)予定 第3回 2/24(土)予定</p>								
前期	9月	UNIT 9 社会 UNIT 10 生物 UNIT 11 歴史									
後期	10月	UNIT 12 工業 UNIT 13 物語 UNIT 14 生物 UNIT 15 植物(速読)	<p>【第二回定期試験】</p>								
	11月	UNIT 1 心理(以降 4を使用) UNIT 2 文化 UNIT 3 宇宙									
	12月										
冬休み											
後期	1月	★英検受検 英検対策にて、防災学習を行う。 UNIT 4 文化 UNIT 5 語源 UNIT 6 教育	<p>【第三回定期試験】</p>								
	2月	UNIT 7 人体									

教科	家庭	科目	家庭基礎	授業 時数	週2時間	教材	実教出版 家基705	種別	高校
学年 組 類型	高等学校1年1組～9組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4	<b>第1章 これからの人生について考えてみよう</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の自分を自己分析し、こんにちの社会背景を踏まえ具体的に生活設計することができる</li> <li>・自己理解や自立を通して青年期をどのように生きるか考えることができる</li> <li>・婚姻、夫婦、親子、相続など家族に関する基本的法律を理解する。民法改正案について触れ社会の取り巻く環境を考えることができる</li> <li>・生命の誕生とそれを育む親の役割の重要性を理解することができる</li> <li>・乳幼児の体の発達、発育、生理的特徴を理解することができる</li> <li>・日本の行事食などの食文化を理解することができる</li> </ul>				
	5	①自分の未来予想図を描こう ②これからの人生をデザインする							
	6	<b>第2章 自分らしい生き方と家族</b> ①自立と共生 ②ライフキャリア ③共に生きる家族 ④家族に関する法律							
前期	7	<b>第3章 子どもとかわる</b> ①子どもとは ②子どもの発達 ③子どもの生活 ④子どもをはぐくむ							
		<b>第6章 食生活をつくる</b> ①日本の食文化の形成							
		<b>第1回定期試験</b>							
夏 休 み									
前期	9	②私たちの食生活 ③栄養と食品のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> <li>・食を取り巻く現状について把握させるとともに、望ましい食習慣を理解することができる</li> <li>・五大栄養素について知識を深め、健康と食事の重要性を理解することができる</li> </ul>				
	10	④食品の選び方と安全 調理実習①			<ul style="list-style-type: none"> <li>・添加物や食中毒の知識を深め、実生活に活かすことができる</li> <li>・基礎的な技術を取得することができる</li> </ul>				
後期	11	<b>第7章 衣生活をつくる</b> ①人と衣服のかかわり ②衣服の素材の種類と特徴 ③衣服の選択から管理まで			<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の生理的機能、社会的機能、素材や性質を解し、衣生活を管理することができる</li> <li>・取り扱い表示や汚れの落ちる仕組みを理解し、素材に適した手入れができる</li> </ul>				
	12	<b>第8章 住生活をつくる</b> ①人間と住まい ②住まいの文化 ③住まいを計画する ⑤安全な住まい 調理実習②			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本独特の生活様式や住まいの機能を理解することができる</li> <li>・災害への備えを学習し、理解することができる</li> </ul>				
		<b>第2回定期試験</b>							
冬 休 み									
後期	1	<b>第9章 消費行動を考える</b> ①消費行動と意思決定 ②消費生活の現状と課題 ③消費者の権利と責任			<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約に関して理解し、様々な販売方法があることを理解することができる</li> <li>・契約に関する法律を学び、問題商法を未然に防ぐための知識を深め、早期解決の方法を理解することができる</li> </ul>				
	2	<b>第10章 経済的に自立する</b> ①暮らしと経済 ②将来のライフプランニング			<ul style="list-style-type: none"> <li>・家計の構造を学び、適切な家計管理を考えることができる</li> </ul>				
	<b>第3回定期試験</b>								
春 休 み									

教科	情報	科目	情報 I	授業 時数	週2時間	教材	図説情報 I (実教出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校全日制1年1組～8組 定時制2年1組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンス</li> <li>・情報社会と私たち:教科書・序章(p4～p9)</li> <li>・Word使い方</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・これから学ぶ情報の重要性について理解する。情報のもつ特性から情報の正しい扱い方を理解する。</li> <li>・Wordを用いて文字入力の仕組みと方法を理解させ、文字の配置やフォント、サイズ、種類の変更罫線の引き方やその体裁の整い方などを説明し、十分に練習する。</li> </ul>			
	5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報社会と問題解決:教科書・第1章(p12～p38)</li> <li>・Excel使い方</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を適切に収集、分析し問題解決に役立てることができる。自分の持っている情報の重要性や知的財産権等の権利について理解する。</li> <li>・Excelを用いてわかりやすい表の作成方法を身に着ける。関数を用いた自動計算の方法を身に着ける。</li> </ul>			
	6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションと情報デザイン:教科書・第2章(p40～p64)</li> <li>・PowerPoint使い方</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアの特性について理解し、メディアリテラシーを身に着ける。情報デザインについて理解し、効率的な情報伝達の手法を身に着ける。</li> <li>・PowerPointを用いて自分の考えを効率的に伝える手法を身に着ける。</li> </ul>			
	7月	第1回定期試験:教科書・序章～第2章、実技							
夏 休 み	8月								
前期	9月	・情報とコンピュータ:教科書・第3章(p66～p94)				・デジタルデータの表現手法を理解する。2進数について理解する。PCの構造について理解する			
後期	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルゴリズムとプログラム:教科書・第4章(p96～p113)</li> <li>・フローチャート</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルゴリズムの基本構造について理解し、問題解決に役立てる手法を身に着ける。プログラミングの基本について理解する。</li> <li>・フローチャートの作図法を身に着け、アルゴリズムについて理解を深める。</li> </ul>			
	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル化とデータ活用:教科書・第5章(p116～p140)</li> <li>・Scratch(プログラミング)</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル、シミュレーションの目的と手法を身に着ける。より高度なデータの収集と分析の手法を身に着ける。</li> <li>・プログラミングの基本的な構造や手法を身に着ける。</li> </ul>			
	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Scratch(プログラミング)</li> </ul> 第2回定期試験:教科書・第3章～第5章、実技				<ul style="list-style-type: none"> <li>・配列、リスト、関数、繰り返し処理、条件分岐について理解する。</li> </ul>			
冬 休 み	1月								
後期	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークと情報システム:教科書・第6章(p142～p164)</li> <li>・Python(プログラミング)</li> <li>・防災学習</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークの構造やインターネットについて理解し、情報通信の仕組みについて理解する。情報セキュリティについて理解し、正しくネットを扱う手法を身に着ける。</li> <li>・Scratchで行ったことをPythonで再現し、プログラミングについてより理解する。</li> <li>・災害時のネット利用について知識を深める。</li> </ul>			
	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラル&amp;セキュリティp84～p88</li> <li>・Python(プログラミング)</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活における情報のモラルやマナーについて理解する。</li> <li>・日常生活に存在する様々な事柄をプログラムにすることでより理解する。</li> </ul>			
	3月	第3回定期試験:教科書・第6章、情報モラル&セキュリティp84～p88、実技							
春 休 み									